

【釜石市】
校務DX計画

1 現状

本市では、令和2年度に統合型校務支援システムの導入や、汎用クラウドツール等を活用し、校務DX化を進めてきた。

「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリストによる自己点検」の実施結果では、「職員会議等で資料をクラウド上で共有しペーパーレス化」については、半分以上している学校が78.6%と成果が出ている。

一方、業務でのFAX利用や、押印を廃止しておらず紙で提出を求めている書類がある等、全ての学校で達成されていない項目も見られるため、業務効率化の観点から、各種デジタル化及びペーパーレス化を積極的に進めていく必要がある。

2 「校務DXチェックリスト自己点検結果」における課題等について

特に以下について各学校と連携を図りながら校務DXの推進に取り組む。

(1) FAX・押印等の制度・慣行の見直し

自己点検の結果から、対象の14校全てでFAXを利用している。また、押印・署名が必要な書類が多くある。教育委員会としては、FAXや押印等について、制度・慣例の見直しを行うとともに、FAXの送付や押印を求めている関係団体、事業者を把握し、制度・慣行の見直しを図ることについて検討する。

(2) GIGA環境・クラウドサービスの一層の活用

自己点検の結果から、GIGA環境やクラウドサービス利用が進んでいる業務もあるが、利用していない業務が多く存在する。業務活用への手順書の作成やICT支援員のサポート、事例集の共有等を行い、更なる活用を推進する。

(3) 校務支援システムへの名簿情報の入力

名簿情報の不必要な手入力がなくなるよう、学齢簿のデータをインポートするなど、教育委員会と学校の役割を明確化し、効率的に校務支援システムを活用する。

3 校務DX化の今後の取組計画

2の課題に基づき、下記の計画のとおり校務DX化を進めていく予定である。

課題	計画	期限
①FAX利用の原則廃止	各校でFAXのやり取りをしている事業者等をリスト化し、メール等でのやり取りを検討する。	令和8年度
②押印の原則廃止	現在、押印を求めている書類を洗い出し、押印不要の様式に変更する。	令和8年度
③クラウドサービスの利活用	校務への活用方法、事例紹介、ICT支援員のサポート等を行い、業務のペーパーレス化を目指す。	令和7年度

